

湯の郷苑小規模多機能型居宅介護事業所

第4回 運営推進会議 活動報告

事業所名：湯の郷苑 小規模多機能型居宅介護事業所

サービス種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護 (該当に)

日 時：令和 6年 10月 25日(金) 14:00~15:00

場 所：湯の郷苑 だんらん

出席者：

利用者代表	0名	知見を有する者	0名
利用者家族	1名	大田市職員	1名
地域住民の代表	1名	その他	0名
事業所職員			1名

(1) 利用者の状況

① 登録者数

R6.9月末	登録者数	16人	R6.9月末	登録者数	16人
	男女比	6:10		男女比	6:10

女性1名、男性1名が9月契約解除。

② 地域別登録者数 (R6.9月末)

温泉津町	14名
大代町	1名
静間町	1名

③ 要介護度別 (R6.9月末時点)

申請中	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
2名	1名	1名	3名	8名	1名	0名	0名

④ 生活状況 (R6.9月末時点)

世帯	人数	内容
同居	1名	県外に住む3姉妹が1か月交代で帰省し介助
	5名	子供同居
	1名	夫と同居
独居	2名	近所に子や親せきがあり支援がある
	4名	家族は市外、県外在住
宿泊	3名	

⑤ 年齢別 (R6.9月末時点)

65歳未満	65歳以上 75歳未満	75歳以上 85歳未満	85歳以上 95歳未満	95歳以上	平均年齢
0名	1名	1名	11名	3名	88.9

⑥ 利用回数 (R6.8月分)

	利用回数(延べ)	一人平均(回)	一日平均(回)
通い	197回	12.3回	6.3回
宿泊	105回	6.5回	3.3回
訪問	64回	4.0回	2.0回
全サービス(一人当たり)		6.4(登録者延数366)396	

利用回数 (R6.9月分)

	利用回数(延べ)	一人平均(回)	一日平均(回)
通い	239回	14.9回	7.9回
宿泊	142回	8.8回	4.7回
訪問	87回	5.4回	2.9回
全サービス(一人当たり)		6.9(登録者延数468)471	

- ・長期宿泊者…3名
- ・男性利用者様は、ご家族が不在になる為4.5日の泊りを希望しておられる。8月は計画通りであった。9月はご本人の都合より利用がなくなった。

1. 議題

①活動状況報告

R6. 8 月（委員会） 安全衛生委員会、身体拘束廃止委員会、虐待防止委員会
令和 6 年度第 3 回運営推進会議

（行 事） 海のドライブ

（研 修） 主任ケアマネ更新研修

R6. 9 月（委員会） 安全衛生委員会、身体拘束廃止委員会、虐待防止委員会
感染症防止委員会

（行 事） 敬老会

（研 修） 口腔衛生管理研修

②感染症の取り組み

マニュアル作成後それに基づき感染対策を行っております。小規模感染
予防のチェックリストは事業所用と職員用のものを毎日記録し、感染防止
の徹底を行っております。面会希望の時は健康状態を確認し、健康であれば、
換気した部屋で 15 分間厳守し行う。

③通院支援（R6. 8 月、9 月分合計）

受診送迎・受診同席	1 回
-----------	-----

④事故報告

R6. 8 月分報告なし

R6. 9 月分

① 訪問サービス時、食器を洗っている時に手が滑り陶器のレンゲを割ってしまった。

謝罪を行い、弁償について伝えるも、本人より弁償はしなくていいとの返答。今
後、取り扱いに注意していくこととした。

⑤ヒヤリハット報告

R6. 8 月分報告なし

R6. 9 月分

① 泊りサービスで持参された荷物をまとめようとタンスやテレビ台の引き出しの中を見ると、おにぎりとおにぎりが出てきた。数日前の物であり、本人様がいつ持って入れたのか不明。
② 利用者様がトイレに入っておられる時に、職員がその場から離れトイレから出られたことに気がつかず、一人で歩行器を使用して歩いておられた。

⑥ 苦情報告 1件報告

朝、煮えたぎったような牛乳を出されて飲む事ができなかった。「あの人が出す飲み物は熱くて飲めない、何分回したかな（レンジ）」と訴えあり。

→本人に謝罪を行い、本人、当該職員に状況確認を行う。今後は本人の状態に合わせた適温での飲み物提供を行う事とした。

⑦ 今後の活動予定

R6. 10月（委員会）安全衛生委員会、身体拘束廃止委員会、虐待防止委員会
 事故防止委員会
 感染症対策委員会

（指導） 10/10 実地指導

（行事）運動会

（研修）事故防止研修会

R6. 11月（委員会）安全衛生委員会、身体拘束廃止委員会、虐待防止委員会
 （行事）文化祭出展、避難訓練、紅葉ドライブ
 （研修）感染症防止対策研修会

2. 意見、要望等

委員(地域)より

昨年度に比べ、月の利用回数が増えているのはなぜか。

→昨年度は契約者が9名あり、利用自体も泊り等が少なかったが、今年度は契約者が16名(9月現在)であり、長期的に泊りの利用者もいることで利用回数が増えていることを説明。

委員(利用者家族)より

紅葉ドライブについて、近隣であれば、清水大師へ来られてもいい、状況が許すのであれば、カフェでお茶を飲んで帰ってもいいのではないかと。

→検討させてもらいたいと返答。

次回の予定

令和6年度 第5回運営推進会議

令和6年 12月 27日(金)